

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 26

所管部局	企画管理部	所管課	情報推進課	担当者名	矢田 浩一
事業名	広報発行費			事業分類	ソフト事業
細事業名	広報発行費			政策体系	461
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 2.文書		

1. 事業の概要

「広報なんたん」（隔月刊、年6回発行） 「お知らせなんたん」（月2回、年24回発行） 各13,000部を市内各戸に配布

2. 事業の目的と必要性

<p>①施策で目指す目標との関連付け 市民と行政が共に担うまちづくりの仕組みを築くために、一体感を醸成するための事業。 市民にとってわかりやすく、利用しやすい行政情報の提供に努める。</p> <p>②事業を実施する必要性 本市においては高齢者世帯も多く、より多くの市民と情報が共有できるように、可能な限り分かりやすく写真やグラフ等を用いた紙媒体の広報誌を発行し、確実に各家庭に情報を届ける必要がある。また、多種多様な情報を集約し、周知することで、情報を必要とする市民の選択の幅を広げることができる。</p>

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	5,976	6,026	4,593	5,781	6,025	6,025	6,025
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	340	1,055	600	600	600
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,976	6,026	4,253	4,726	5,425	5,425	5,425
職員等の従事人員		人/年	—	—	1.20	1.20			
人件費		千円	—	—	7,408	6,813			
事業費総額		千円	—	—	12,001	12,594			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

広報なんたん印刷代	2,399,250円
お知らせなんたん台紙印刷代	2,909,875円

5. 事業結果の概要

広報なんたん	6回発行
お知らせなんたん	24回発行

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活動結果等
(1) 広報発行		
●広報なんたんの編集・発行（隔月、第2金曜日発行）4・5月号（28P）、6・7月号（24P）、8・9月号（20P）、10・11月号（22P）、12・1月号（32P）、2・3月号（28P）南丹市のまちづくりの方向や方針について、写真やグラフ等を用いて分かりやすく市民に伝えるとともに、まちづくりや市政への関心を高める目的で発行した。	5月8日、7月10日、9月11日、11月13日、1月8日、3月12日	各13,000部を市内各戸及び市内外関係機関へ配布事業費：2,549,250円（印刷製本費・郵送料）
(2) お知らせ発行		
●お知らせなんたんの編集・発行（月2回、第2・4金曜日発行）第78号～第101号行政情報や学習機会、イベント情報などを集約し、周知することで、情報を必要とされる方の選択の幅を広げた。	4月10日・24日、5月8日・22日、6月12日・26日、7月10日・24日、8月14日・28日、9月11日・25日、10月9日・23日、11月13日・27日、12月11日・25日、1月8日・22日、2月12日・26日、3月12日・26日	各13,000部を市内各戸に配布事業費：3,023,875円（印刷製本費・用紙代）掲載件数：78号27件、79号31件、80号18件、81号30件、82号38件、83号34件、84号30件、85号28件、86号32件、87号21件、88号28件、89号31件、90号29件、91号40件、92号35件、93号21件、94号20件、95号27件、96号22件、97号32件、98号27件、99号21件、100号22件、101号21件
(3) 広報研修		
●平成21年度広報初任者研修会へ出席●広報基礎講座へ出席●近畿市町村広報紙セミナー●平成21年度広報研修（写真の部）へ出席●平成21年度広報研修（広報マインドアップセミナー）へ出席	6月18日・19日、6月30日、7月13日・14日、9月25日、11月18日	「広報なんたん12・1月号」が、京都府広報賞の「一枚写真の部 会長賞」を受賞。「広報なんたん8・9月号」が、近畿市町村広報紙コンクールの「優良賞」を受賞
(4) 広報広聴委員会		
●広報広聴委員会を開催 各部局から広報広聴委員を選出し、広報広聴業務に必要な情報の収集及び把握に務め、広報広聴活動の的確で能率的な運営を図った。	6月3日、8月5日、10月7日、11月20日、1月28日、3月31日	開催回数：6回

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

広報アンケートの結果を踏まえ、「広報なんたん」では市の計画・予算や新しい事業・制度を紹介した記録性重視の内容に、「お知らせなんたん」は行政情報や市民生活に関する記事やイベント告知など定期的なお知らせを中心に掲載するなど、情報整理をすることで効果的な取り組みができた。
 今後は、CATVの行政広報番組を充実拡大することによって、各年齢層の市民に対応できる多様なメディアでの広報活動に取り組む必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
 広報誌（紙）の特色を出すため、記事の選別を行い簡略かつ明瞭化を心がけ体裁を工夫した。
- ②当該事業のアピール事項 隔月刊誌「広報なんたん」と隔週刊紙「お知らせなんたん」の定期的な発行により、市民に必要な情報をわかりやすい紙面で伝えることができた。広報アンケートをとり市民の意見や感想を聞き取ることによって、市民に一番身近な情報誌の内容充実に役立てられた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等 現在、広報誌（紙）への広告掲載予定はないが、自主財源確保のための広告料収入の品位、公共性、公益性の観点からの慎重な審議が必要である。